

「清水和音のお悩み相談～教えて、和音さん!」

今月の悩みごと▶▶▶

ピアノを教えているのですが、こどもの教材選びにいつも頭を抱えています。指の独立を主な目的とした学習、たとえばハノンやツェルニーなどの教本は必要なのでしょうか？

(札幌市・Iさん)

ハノンを勉強すれば、ハノンが上手になります。

ひとくちに指の独立と言っても、単純な筋肉の運動と、この指でどう弾くという意志伝達の部分があるでしょう？だから、その一部分を訓練するために、目的をわかって練習するのはいいけれど、こどもにはどうなんだろう？個人的には、もっといい曲があると思います。

バッハの『インヴェンションとシンフォニア』をくり返し弾くのは、とても有

意義だと思えますよ。

ほんとうに大事なのは、こどもの頃から偉大な芸術に接しているかどうかということ。バッハやモーツァルトを弾けるのだから、けっこうすごい体験をしているのだということ、先生がわかってほしい。それで、ひとりひとりがちょっとずつ背伸びできるように見極めてあげてほしい。だから、ハノンやツェルニーとつき合っている暇はないんですよ(笑)。

——ハノンを勉強すれば、ハノンが上手になります。

清水和音

※ 読者のみなさんからのご相談にお答えします。ピアノのこと、人生のこと、仕事や恋愛のこと、素朴な疑問……などなど、率直なご質問をお寄せください。こちらのURL⇒<http://www.onhgakunotomo.co.jp/kazunenohonne> まで。楽しみにお待ちしています!

■公演情報

北九州音楽祭 第30回「ガラ・コンサート」

〈日時〉11月26日(日) 15時 〈会場〉北九州市立響ホール
 〈出演〉清水和音、南紫音(Vn)、三浦一馬(バンドネオン) マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ(篠崎史紀vn、双紙正哉vn、長哲也fg、田中香織cl ほか)
 〈曲目〉ベートーヴェン「ピアノ協奏曲第3番」ほか
 〈問合せ〉北九州国際音楽祭実行委員会事務局 093-663-6567

大江馨 ヴァイオリン・リサイタル

〈日時〉12月9日(土) 14時 〈会場〉紀尾井ホール
 〈出演〉大江馨(Vn) 清水和音
 〈曲目〉ベートーヴェン「ヴァイオリン・ソナタ第8番」、フランク「ヴァイオリン・ソナタ」他
 〈問合せ〉サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

清水和音 ベートーヴェン4大ピアノ・ソナタ

〈日時〉12月9日(土) 18時 〈会場〉東京オペラシティコンサートホール
 〈曲目〉《悲愴》《月光》《ワルトシュタイン》《熱情》
 〈問合せ〉サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

大阪フィルハーモニー交響楽団演奏会

〈日時〉12月13日(水) 19時 〈会場〉大阪シンフォニーホール
 〈出演〉清水和音、小林研一郎(指揮)、大阪フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)
 〈曲目〉チャイコフスキー「ピアノ協奏曲第1番」ほか
 〈問合せ〉大阪フィルハーモニー交響楽団 0570-00-3337

芸術プランチコンサート

〈日時〉12月19日(火) 11時 〈会場〉東京芸術劇場コンサートホール
 〈出演〉清水和音、大江馨(vn)、藤江扶紀(vn)、佐々木亮(va)、富岡廉太郎(vc)、西山真二(cb)、竹山愛(fl)、伊藤圭(cl)、加羽沢美濃(ナビゲーター)
 〈曲目〉ヨハン・シュトラウスⅡ世(川崎龍 編曲)《春の声》《皇帝円舞曲》《美しく青きドナウ》他
 〈問合せ〉サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

Kitaraのクリスマス

〈日時〉12月23日(土・祝) 15時 〈会場〉札幌コンサートホール(大)
 〈出演〉清水和音、高関健(指揮)、札幌交響楽団(管弦楽)
 〈曲目〉チャイコフスキー「ピアノ協奏曲第1番」ほか
 〈問合せ〉Kitaraチケットセンター 011-520-1234

「そうそう。若い仲間。音楽の世界の住人。music dwellerと言ふかな。」

「でも、ときには間違っちゃって迷いこんでしまったような人もいるのでは？」

「まあ、そういうのも含めて住人だよ(笑)。」

「というか、純度が高まると、たいがい間違えるものなんですよ(笑)。なんであれ、不純物と思われるものが役割を果たしているからか。社会という

「それはつまり、自分のなかにも不純なところを残しておくということになるのですか？ それとも、やっぱりできるだけ純粋さを保つていたいと思いませんか？」

「そう、それは、きれいな存在というのとはぶんどこにもないわけで、だけど意識としてはやっぱりそうありたいと思ってる。だいたい、極端なことっていうのは、あんまり正しくないことが多い。これは自分の人生の経験から言ってる。これは極端なことは間違えてることが多いよ(笑)。」

「そう、そういうことは考えなくて、なんて言うかな……。音楽家たちはこの世でいちばんきれいなところを担当しているわけだから。きれいな心をもっていたい、とは思ってよ。」

「存在としては、きれいな存在というのとはぶんどこにもないわけで、だけど意識としてはやっぱりそうありたいと思ってる。だいたい、極端なことっていうのは、あんまり正しくないことが多い。これは自分の人生の経験から言ってる。これは極端なことは間違えてることが多いよ(笑)。」